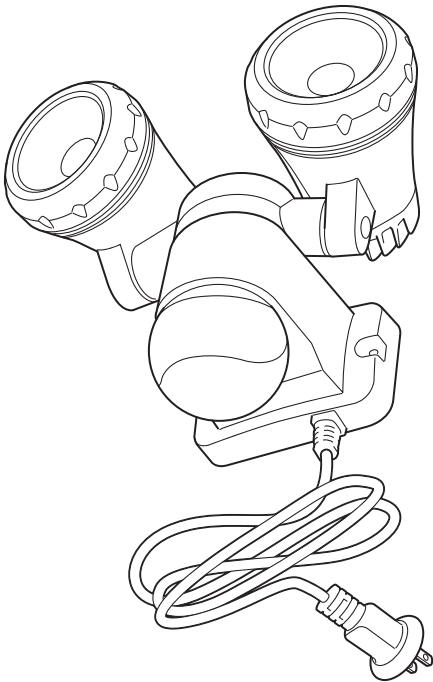


リモコン付LEDセンサーライト

RF-LS1300

保証書付取扱説明書



目次

安全上のご注意	1 ~ 4
各部の名称	5
■本体	5
■設置用部品	5
■リモコン	5
設置	6 ~ 7
■直接壁等に設置する方法	6
■クランプを使用して設置する方法	7
準備	8
■リモコンの準備	8
■使用方法	8
調整・設定	9 ~ 11
■センサー検知範囲の調整	9
■ライトの照射方向の調整	10
■照らし方の調整（ズームイン/ズームアウト）	10
■明るさの調整	11
■点灯時間の設定	11
■点灯開始照度の設定	11
主な仕様	12
故障かな?と思ったら	13 ~ 14
保証書	裏表紙

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は、いつでも見られるように大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- 人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

(下記は図記号の一部です)



禁止

この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。



指示

この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

免責事項

本製品の使用により生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



警告



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



禁止

- 本製品の隙間に、金属などの異物を入れない。
感電や故障の原因となります。
- お子様だけで使用させない。また、幼児の手の届くところでの使用や保管はしない。
事故やけがの原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。
火災や感電の原因となります。
- 電源コードに重いものを載せない。
火災や感電の原因となります。

警告

 禁止	● 交流 100V 以外の電圧で使用しない。 火災や感電の原因となります。 ● 本製品を燃えやすいものや引火しやすいものの近くに設置しない。 火災の原因となります。 ● 本製品を布や布団などがかぶる場所に設置しない。 火災の原因となります。 ● 傷んだ電源プラグやゆるみのあるコンセントは使用しない。 火災の原因となります。 ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 火災や感電の原因となります。
 分解禁止	● 本製品を分解、修理、改造しない。 火災や感電の原因となります。
 電源プラグを抜く	● お手入れや点検をするときは、電源プラグを抜く。 感電の原因となります。 消灯直後はライト全体が高温になっています。やけどの原因となりますので、冷めるまで待つて作業をしてください。
 必ず守る	● 電源プラグに付着したほこりやごみをこまめに取り除く。 火災の原因となります。 ● 屋外で使用する場合には、コンセントは防水型コンセントを使用する。 火災や感電の原因となります。 ● 電源プラグは確実に差し込む。 火災や感電の原因となります。 ● 煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く。 火災や感電の原因となります。 お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターまでご連絡ください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

注意

 禁止	● 大量の水がかかる場所に設置しない。 本製品の電気機械機器の外郭による保護等級は IP44 に適合しています。(JIS C 0920:2003 による) 通常の雨には耐えますが、大量の水がかかる場所で使用すると故障の原因となります。
--	---

注意



禁止

- 逆さまに設置しない。
火災や故障の原因となります。
- 点灯中、消灯直後に本製品を触らない。
点灯中や消灯直後はライト全体が高温になっています。
やけどの原因となります。
- 異常に温度が高くなる場所では使用しない。
火災の原因となります。
- お手入れをする場合は、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しない。
- 不安定な場所に設置しない。
落下によるけがや本体の破損の原因となります。
- LED を直視しない。
目の傷みの原因となります。



電源プラグ
を抜く

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
火災の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

■コイン形リチウム電池を安全にお使いいただくために

液漏れ、発熱、破裂、発火、誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告



禁止

- 電池は、乳幼児の手の届く所に置かない。
万一、飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師に相談してください。
- 電池を充電しない。
- 電池を火気に近づけたり、加熱、分解しない。
- 電池の液が漏れたときは素手で触らない。
電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 電池をショートさせない。
- 金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）と一緒に保管しない。
- 電池に直接はんだ付けしない。



必ず守る

- 電池を使いきったときや長期間使わないときは、電池を取り外す。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、故障や火災、けが、周囲を汚損する原因となります。
- 電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる。

注意



禁止

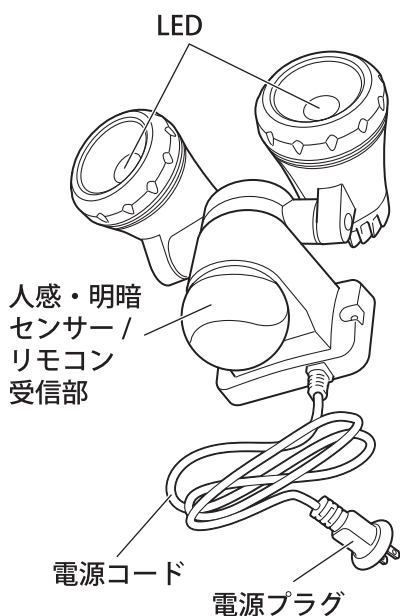
- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の当たる場所、高温、多湿の場所で使用しない。
- 電池を水などでぬらさない。
- 電池の使用、保管時に、発熱や変形などの異常に気がついたときは使用しない。

〈電池の廃棄について〉

プラス⊕とマイナス⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

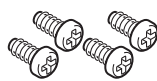
各部の名称

■本体



■設置用品

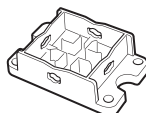
ブラケット固定用
ネジ 4 本



ちょうナット



ブラケット



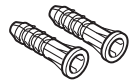
クランプ台



取り付け用ネジ
2 本



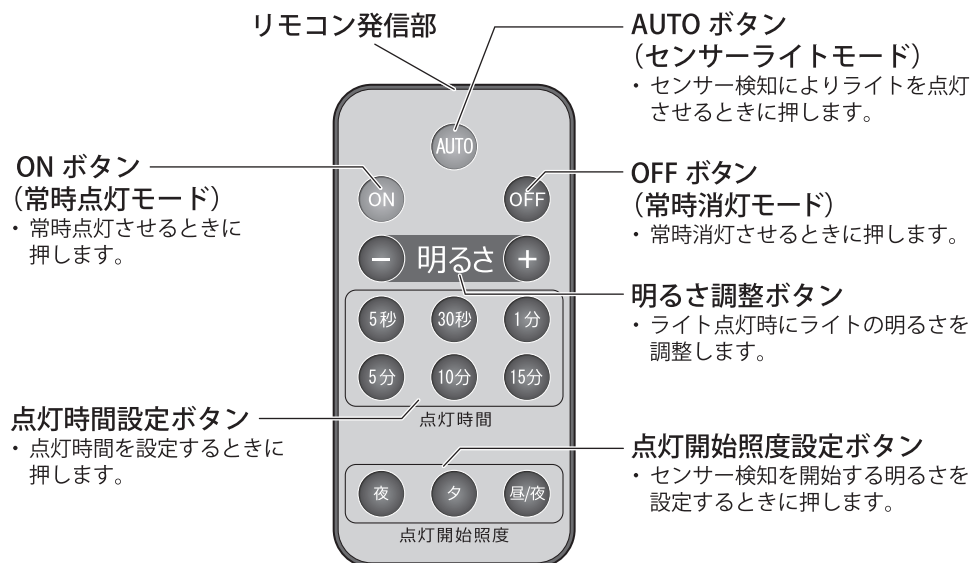
カールプラグ
2 本



固定棒



■リモコン



設置

⚠ 警告

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行う。
- ぬれた手で作業しない。
感電の原因となります。

⚠ 注意

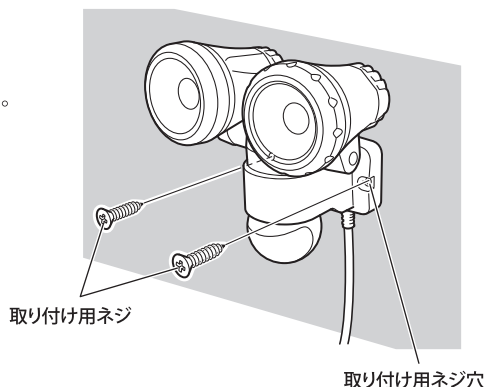
- 下記のような場所に本製品を設置しない。
 - ・ 電灯などの明かりが近くにある場所
 - ・ ガラスや表面が光るものや反射するものに直接センサーが向いている場所
 - ・ 直射日光が当たる場所や高温、湿度の多い場所
 - ・ 木や細い柱など振動で不安定になる場所
 - ・ 本体が地面に対して水平にならない場所
 - ・ 換気扇やエアコンの室外機のそば

※屋外に取り付けた場合、紫外線により多少外観に色の変化が出る場合がございますが、機能上問題はありません。

■ 直接壁等に設置する方法

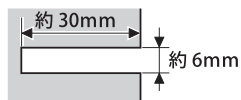
〈取り付け用ネジによる設置〉

1. 取り付け用ネジ 2 本で本体を固定します。

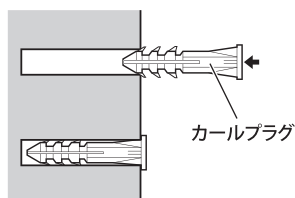


〈モルタルやコンクリート壁など取り付け用ネジで固定できない場合〉

1. 取り付ける位置に本体を当て、取り付け用ネジ穴から印をつけます。
2. 印にドリルで下穴を開けます。
 - ・ 直径約 6mm、深さ約 30mmの穴を開けます。



3. カールプラグ 2 本を打ち込みます。



4. 取り付け用ネジ 2 本で本体を固定します。

■ クランプを使用して設置する方法

⚠ 注意

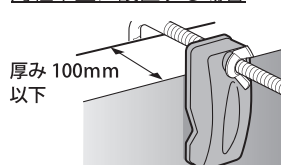
- 万一落下しても事故が起こらない場所に設置する。
けがや事故の原因となります。

〈設置できる柱・壁のサイズ〉 丸柱やパイプに設置する場合



丸柱やパイプに設置する場合は中央のくぼみに合わせて挟み込んでください。

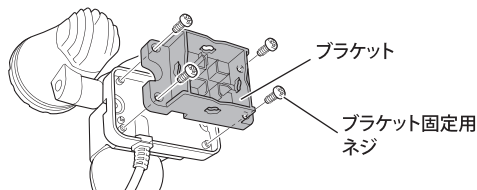
角柱や壁に設置する場合



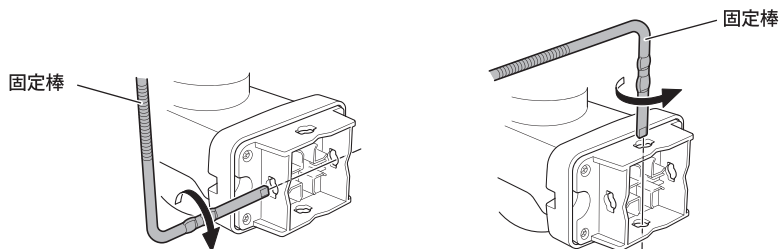
角柱や壁に設置する場合は奥までしっかりと入れて、挟み込んでください。

〈パイプや壁に設置〉

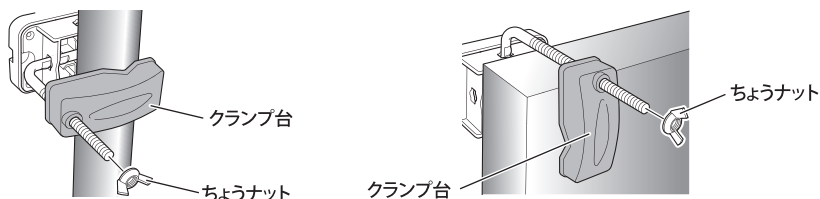
1. ブラケット固定用ネジ4本を使用し、ブラケットを本体に固定します。



2. 固定棒を設置する場所に合わせて、上部または側面の穴に差し込みます。



3. 固定棒にクランプ台を通し、ちょうナットを締めて固定します。



準備

■リモコンの準備

リモコンにはあらかじめ電池が入っています。
ご使用前に絶縁フィルムを引き抜いてください。



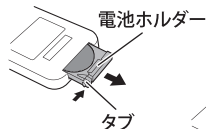
※あらかじめセットされている電池は動作確認用です。

リモコン受信部に近寄らないと動作しなくなったときは、新しい電池と交換してください。

〈電池の交換〉

電池を交換する際は、コイン型リチウム電池 (CR2025 / 市販品) とお取り替えください。

1. タブを押して電池ホルダーを引き出します。



2. 電池を入れます。(CR2025)

- ・ プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示どおりに正しく電池ホルダーに置いてください。

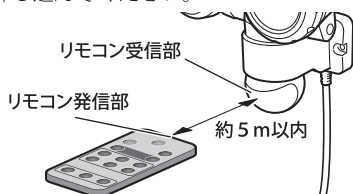


3. 電池ホルダーをリモコンに戻します。

- ・ カチッと音がするまで電池ホルダーを確実に押し込んでください。

〈リモコンの受信範囲〉

リモコン受信部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。
障害物を取り除いてご使用ください。



■使用方法

⚠ 注意

- 電源プラグは抜けないように、確実に差し込む。
- 電源コードは、束ねて使用しない。
- 電源は家庭用コンセント (AC100V、50/60Hz) を使用する。

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ・ 電源プラグを差し込むとセンサーライトが点灯し、約 30 秒後に消灯します。
(ただし、この点灯中にセンサーが検知すると点灯時間が延長されます)
その後、センサーライトモードが作動します。

作動開始時の初期設定

明るさ : 中 (「明るさ調整」ボタンで調整可能な 6 段階中 3 番目の明るさ)

点灯時間 : 5 秒

点灯開始照度 : 昼 / 夜 (照度に関係なく常時センサーが検知します)

2. リモコンを使って、明るさ、点灯時間、点灯開始照度を設定します。

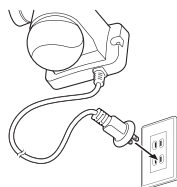
リモコンの「明るさ調整」ボタン、「点灯時間設定」ボタン、「点灯開始照度設定」ボタンで希望の設定を発信し、本体の受信部で受信する度にセンサーライトが約 3 秒間点灯し、消灯します。
すべての設定が完了したら、センサーライトモードが作動します。

3. リモコンで点灯モードを設定します。

「AUTO」ボタン センサーライトモードが作動します。

「ON」ボタン ライトが点灯し、常時点灯モードになります。

「OFF」ボタン ライトが消灯し、常時消灯モードになります。

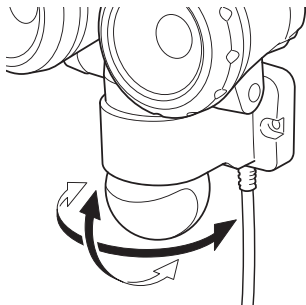


調整・設定

■センサー検知範囲の調整

夏場、周囲の温度と動く人の体温との差が少ない場合や、センサーに向かって直進する場合などには、センサーの検知が鈍くなり点灯しない場合があります。

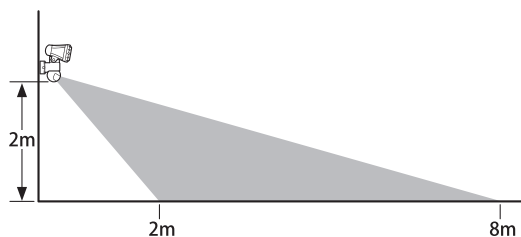
1. 検知したい方向にセンサーを向けます。
 - ・ センサー部分を上下左右に回し、センサー検知範囲を調整することができます。



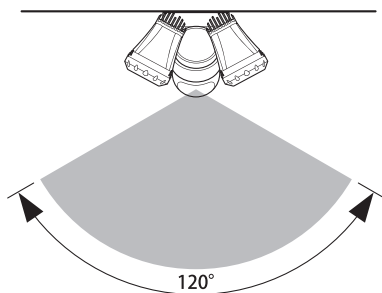
〈センサー検知範囲の目安〉

センサーは、最長約 8 m × 左右 120° の範囲で検知します。

横から見た図



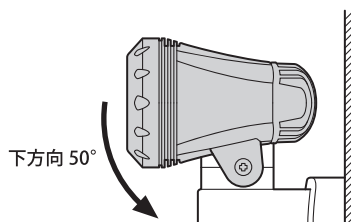
上から見た図



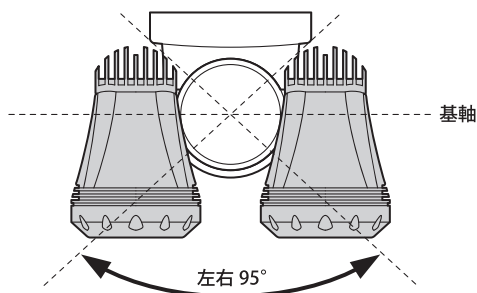
調整・設定

■ライトの照射方向の調整

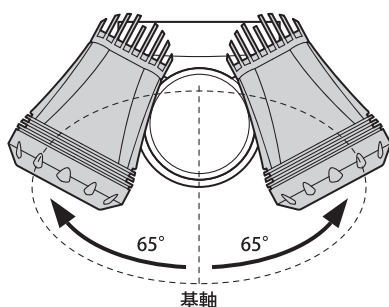
1. 照射したい方向にライトを向けます。
 - ・ ライトを上下左右に回し、照射する方向を調整することができます。
 - 左右のライトは独立して動かすことができます。



〔2 灯同時に動かした場合〕



〔1 灯ずつ別々に動かした場合〕

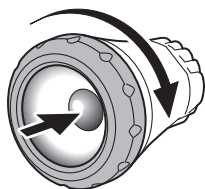


■照らし方の調整（ズームイン / ズームアウト）

遠くを照らすズームインと近くを広く照らすズームアウトに照らし方を変えることができます。

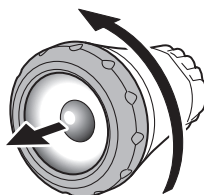
〈ズームイン〉

1. ヘッド部を時計回りに回します。



〈ズームアウト〉

1. ヘッド部を反時計回りに回します。



調整・設定

■明るさの調整

ライトの明るさを6段階で調整することができます。



1. ライト点灯時に明るさ調整ボタンの「-」ボタンまたは「+」ボタンを押し、明るさを調整します。

■点灯時間の設定

センサーが検知し、ライトが点灯してから消灯するまでの時間を設定することができます。



1. ライト点灯時に「点灯時間設定」ボタンから点灯させる時間のボタンを押します。

■点灯開始照度の設定

センサー検知を開始する明るさを設定することができます。



1. ライト点灯時に「点灯開始照度設定」ボタンから点灯を開始する照度を選びボタンを押します。
「夜」ボタンを押すと夜の間だけセンサー検知し、「夕」ボタンを押すと夕方から夜の間にセンサー検知します。
「昼/夜」ボタンを押すと照度に関係なく常時センサー検知します。

主な仕様

電 源	100V 50Hz / 60Hz
消 費 電 力	約 18W
全 光 束	約 1300 ルーメン
使 用 光 源	高輝度 LED（交換はできません）
センサー検知範囲	最大角度 120 度、最大距離 8 m（高さ 2 m）
センサー検知方式	焦電型赤外線検知方式
点灯時間の調整	5 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、15 分
質 量	本体：約 690g（電源コードを含む）
電 源 コ ー ド 長	1.8m
付 属 品	リモコン（動作確認用コイン形リチウム電池 CR2025 × 1 個内蔵）、保証書付取扱説明書

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

現 象	考えられる原因	処 置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	電源が正しく供給されていない。	電源プラグの差し込みおよびコンセントの電源供給（ブレーカー）を確認してください。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知エリアに対して、検知対象（人など）が横切るような場所に取り付けてください。 または、センサーの角度を変更してください。
	周囲が明るい。 (夜でも周囲に他の照明器具がある)	点灯開始照度を「昼 / 夜」に設定してください。 他の照明器具の明かりが届かない場所に取り付け場所を変更してください。
	寒いときや雨降りのときで、人がマフラーや傘などで覆われている。	設定場所や検知エリアを調整してください。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため、左記の場合などは検知しにくくなることがあります。
	夏場など周囲の温度と人体の温度差が小さい。	
	非常にゆっくりとした速度で検知エリアに侵入している。	
	検知エリアが遮られている。 ※ガラスや壁、堀越しには人の動きを検知できません。	検知範囲の調整、もしくは取り付け場所を変更してください。
ライトが点灯してもすぐに消える	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	本体は約 2 m の高さに設置してください。
	点灯時間が「5 秒」に設定されている。	点灯時間を長く設定してください。
	照射方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤作動する場合があります。	反射する障害物を取り除いてください。

故障かな？と思ったら

現 象	考えられる原因	処 置
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	電源投入直後のウォームアップ時間中のため。 ※回路を安定動作させるため、電源投入直後はライトが約60秒間点灯したままになります。	ウォームアップ時間が終了するまで、検知エリアの外に出て待機してください。
	何らかの物体がセンサーに反応し続けており、点灯時間が延長され点灯したままになっている。	完全に検知エリアの外に出てください。
		検知エリアを調整してください。
		設置場所を変更してください。
人がいないのに点灯する	点灯時間が「15 分」に設定されている。	点灯時間を短く設定してください。
	検知エリア内、または周囲に下記のような誤作動をする要因がある。 (例) ・他の照明器具の明かり ・風で揺れるもの (植木、洗濯物、旗など) ・犬や猫などの動物 ・温風や冷風が吹き出すエアコン ・ガス給湯器からの熱風 ・強い無線ノイズ	誤作動の要因となっているものを検知エリア内から取り除いてください。
	検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。	検知エリアを調整してください。
	風や車両の通行などにより、本体を取り付けている柱などが振動している。	設置場所を変更してください。
昼間なのにライトが点灯する	点灯開始照度が「昼 / 夜」に設定されている。	点灯開始照度を「夜」または「夕」に設定してください。
リモコンが動作しない、または正しい動作をしない	電池の向きが逆になっている。	電池を正しく入れなおしてください。
	電池が消耗している。	電池を交換してください。
	リモコン発信部をリモコン受信部に向けていない。	リモコン受信部に向けて操作してください。
	リモコン受信部と距離が遠い。	リモコン受信部から約 5 m 以内で操作してください。
	リモコン受信部の前に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
	リモコン受信部に強い光が当たっている。	リモコン受信部に光が当たらないようにして、操作してください。

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	リモコン付LEDセンサーライト			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	RF-LS1300	品番	07-8896	保証期間：本体 1 年間（お買い上げの日から）			
お客様	★お名前 様						
	★ご住所 〒 — 電話 ()						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます